



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「私たちは変えられる」 “Yes,we can change.”
アジア地域会長主題	「アクション」 “Action”
西日本区理事主題	「未来に残すべきものを守り育てる」 “Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.”
中部部長主題	「ワイズ総活躍中部」
金沢クラブ会長主題	「語り合おう 伝え合おう 楽しいワイズライフを」

2019 1 月間強調 IBC DBC

今月の聖句 (西 信之君)

しかし、神の人よ、・・・、正義、信心、信仰、愛、
 忍耐、柔和を追い求めなさい。信仰の戦いを立派に戦
 い抜き、永遠の命を手に入れなさい。

テモテへの手紙 6 章 11～12 節

1 月強調月間

交流はワイズの醍醐味です。お見合いボードも利
 用していただき、様々な出会い、交流を楽しみましょ
 う。

中井信一国際交流事業主任

(奈良クラブ)

1 月例会 プログラム

と き	2019 年 1 月 17 日 (Thu.) 18:30～20:30
と ころ	金沢ニューグランドホテル
会 費	¥3,000 (会員は無料) ¥2,000 (メット)
司 会	伊藤仁信君
開 会 ・ 点 鐘	幸正一誠会長
主 題	司 会 者
ワ イ ズ ソ ン グ	一 同
今 月 の 聖 句	西 信 之 君
ハ ッ ピ ー バ ー ス テ ー イ	幸正一誠会長
講 師 紹 介	朝倉みゆきさん
食 前 の 感 謝	数澤輝夫君
ス ピ ー チ	西 信 之 君
	“日本の歴史は1万年以上に遡る： 見直される縄文”
委 員 会 報 告	各 委 員
ニ コ ニ コ タ イ ム	朝倉みゆきさん
Y M C A の 歌	一 同
閉 会 ・ 点 鐘	幸正一誠会長

12 月 クラブ活動状況

第 1 例会 (12 月 20 日 Thu.)	
メ ン :	朝倉、伊藤、数澤、幸正、西、山内 (6 名)
功 労 会 員 :	澁谷 (1 名)
出 席 率	100% 充足率 300%
メ ネット :	朝倉、伊藤、数澤 (3 名)
ゲ ス ト :	大澤牧師夫妻と子ども 3 人、吉川さん 北村さん、北村君、四ヶ浦氏、藤井氏、 浜岸氏 (8 名)
第 2 例会 (12 月 1 日 Sat.)	
メ ン :	朝倉、伊藤、数澤、幸正、山内 (5 名)
メ ネット :	数澤、朝倉 (2 名)
ニコニコタイム	94,000 円 (YMCA 同盟に献金)
ク ラ ブ フ ァ ン ド	累 計 71,000 円
B F ポ イ ン ト	
切 手	0 g 累 計 320 g
現 金	0 円 累 計 0 円

会 長	幸正一誠	書 記	西 信之
副 会 長	数澤輝夫		山内ミハル
	伊藤仁信	会 計	朝倉みゆき
		メット会長	数澤淑子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30～20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会：毎月 1 日 18:30～20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

12月クリスマス例会

数澤輝夫

クリスマス例会は12月20日(木)、金沢ニューグランドホテル「相生の間」において18時30分から開催されました。演台のロウソクが点火され、山内ミハルさんの司会により先ず「賛美のとき」から始まりました。讃美歌111番“神の御子は今宵しも・・・”を参加者一同で賛美し、祈禱、聖書「フィリピの信徒への手紙4章5～6節」の朗読、続いて「クリスマスから始まる休暇」と題して、日本基督教団金沢元町教会大澤正芳牧師の説教がありました。



飼葉桶に寝かされている幼子イエス・キリストの元へ、星に導かれた三人の博士と、天使の知らせを聞いた羊飼いが幼子を拝みに来ました。この方こそ救い主である。救い主は何時も私たちの近くにおられます、日々感謝を込めて祈りを持って過ごして下さい。」との神の愛に満ち溢れる恵みのメッセージを頂きました。次に祈禱、讃美歌112番を一同で歌い、静かで厳粛な「賛美のとき」を持ちました。



あらためて「開会点鐘」を金沢クラブ幸正一誠会長がランチョンベルを鳴らし、開会宣言を行いました。続いて、長年にわたり金沢YMCAの働きに貢献された澁谷洋太郎君に、日本YMCA同盟より「50年継続会員賞」の盾が贈られ、金沢YMCA朝倉秀之理事長がお渡ししました。澁谷洋太郎君から喜びと感謝の言葉がありました。



その後、主題、ワイズソング、ゲスト紹介と進み、西信之君が食前の感謝の祈りを捧げ、次に金沢YMCA理事長朝倉秀之氏による乾杯の発声で、ホテルからプレゼントのシャンパンでテーブルごとに「メリークリスマス！」とグラスを重ねて乾杯を行った後、楽しい食事の時間となり、和やかな懇談のひと時を過ごしました。その後、いよいよ待望の「親睦のとき」、例年メネット会が担当で司会は山内ミハルさんです。参加者は21名(内、幼児3名含む)、テーブルは3卓、チーム対抗戦です。最初のゲームは幼児から大人まで全員参加です。各自に色とりどりの紙テープのレイ4本が配られて、自分と違うテーブルの人とのご挨拶、ジャンケンで勝った人は、負けた人からレイを1本頂くゲームです。会場内は“ジャンケン・ポン!”の元気な声と「勝った!」「負けた!」の声が飛び交い、一気に賑やかな雰囲気になりました。ゲストや小さな子供のいるテーブルが多くレイを集めてトップになり、景品をゲットしていました。



次は各テーブルから2名ずつの代表の方に白ワインを飲んでいただきました。ところが一人だけはワインならず酔入りのグラスが渡されています。それを飲んでるのは誰かをみんなで当てるという過酷なゲームです。6名の選手はなかなかの演技派で美味しそうに飲んでいましたが、さて誰が「酔」入りワインを飲んだでしょう?素晴らしい迷演技に爆笑、当てたのはまたもや子供たちのいるテーブルで景品を獲得していま

した。選手を交代して、次はコーヒーの飲み比べ、一人だけ砂糖ならぬスプーン1杯の塩入りコーヒーを飲んだ人を当てるゲーム、続いて、ちくわの穴にキュウリをとおし、一口大に切ったちくわの1個には穴の中にわさびがたっぷり入っていました。それを食べたのはだれか？どれもこれも迷演技の選手たちに会場は報復絶倒でした。



最後のゲームは目の高さから大豆10粒を、床に置かれたコップの中に入れるという難易度の高いゲームでした。やっと入っても弾いて飛び出す大豆もあり、これは子供たちが背の高さもさることながら、とても上手でした。大人も真剣に小さな大豆を小さなコップに入れることに夢中になり、こぼれた大豆を子供たちが拾い集めている姿が、また(笑)を誘いました。楽しい時は時間の過ぎるのを忘れてしまうものです。最後にみんなが準備して持ち寄った心温まるクリスマスプレゼントを頂き感謝しました。

当日のニコニコは8,400円でした。これに「ながまちふれあい2018、2016募金」1,547円を合わせて、9,947円を金沢YMCA理事長朝倉秀之氏にお渡し、日本YMCA同盟宛に送金を依頼しました。



終わりにYMCAの歌を合唱して、楽しく過ごしたクリスマス例会の締めは幸正一誠会長の閉会・点鐘で盛会裏に終了しました。

~~~~~お知らせ~~~~~

☆とやまクラブ設立総会

日時：2019年2月10日(日) 16:00~20:30

15:30 受付

16:00 設立総会・懇親会

場所：とやま自遊館

富山市湊入船町9-1

TEL 076-444-2100

会費：9,000円(宿泊込 15,000円 シングル)

参加予定：朝倉、伊藤、数澤、数澤、幸正、澁谷、山内

☆新年会

日時：2019年1月24日(木) 18:30~20:00

場所：囲炉裏 竜

金沢市木倉町 TEL 076-254-0230

会費：5,000円(料理+ワンドリンク)

~~~~~YMCAからのお知らせ~~~~~

☆金沢YMCA スキー教室2019

日時：2019年2月16日(土)

開催場所：白山一里野スキー場

集合場所：北陸学院大学国際交流センター(三小牛)

集合時間：08:00

解散場所：北陸学院大学国際交流センター(三小牛)

解散時間：17:00

参加費：9,000円(この中には指導料、保険料、貸切りバス代、昼食代、お菓子、YMCA年会費が含まれますが、貸しスキー、貸しスキー靴、貸しストックなどは含まれていません。)

申し込み締切：2019年2月12日(火)

お問い合わせ：090-6539-5173(朝倉)までご連絡ください。

Happy Birthday

山内ミハルさん 1月10日

2月の担当

聖句担当：数澤 輝夫君

ブリテン執筆：滋賀蒲生野クラブ



中部評議会・EMC シンポジウムに陪席・出席して

朝倉みゆき

12月22日(土)山内ミハルメン宅前に午前6時46分到着した。良かった間に合った。遅れたら大変と目覚ましを掛けていた。

初めての中部評議会・EMC シンポジウムへの参加だった。県外での参加は自分には無理と決めていた。金沢 YMCA の少しでも応援出来たらとの思いでワイズメンに入った。ワイズメンのメンバーが少なくなり「行けません！行けません！」と言ってばかりもいられなくなった。しばらく待っていると、山内メンに「送ってもらったの？」と声を掛けられた。数澤メネットもメンに送られて到着した。

小雨の中、山内メンの運転で北陸道西インターへと向かった。「みゆきさんと出かけるの初めてね。参加するのもいいわよ」と数澤メネットが言った。山内メンが「その容器にリンゴ切ってきたから食べて。皮は付いたままよ。」

車は順調に走っていた。

「朝ごはん食べてきた？」と聞かれた。「はい！」山内メンと数澤メネットはまだの様だった。

「南条でお蕎麦でも食べる？」「じゃあ、そうする」車は南条の駐車場に入った。おろし蕎麦を注文して食べた。なかなか美味しい。朝ごはん食べてきたのになあ。

南条を出発した。今庄に近づくと、車が繋がっていた。高速道路なのに、何かあったのだろうか。料金所で「高速から降りてください」と、赤い旗を持った女の職員の方に言われた。

「突き当りを左に行き、次に右へ行ってください。敦賀へ向かってください。途中は山道です。」

今庄365スキー場の看板を見ながら敦賀へと山道が続いた。深い霧の中を走り、入り口の小さくて長いトンネルは「木の芽峠トンネル」と書いてあった。40分ほど走ると、敦賀高速道路入り口が見えてきた。スマホで検索すると、「北陸道で軽自動車が炎上」と書いてあった。

高速道路に戻る車の列は、大名行列のようだった。二股に道は分かれ、そこで右か左か分からず停車した。

「北陸道だから、左よ」と淑子さんが言い、脇を走っている車を避けながら流れに乗ることができた。米原への看板を見ながら進み、刀根第二トンネル、刀根第一トンネル、柳ヶ瀬トンネルを通り、賤ヶ岳のパー

キングあたりから日が射してきた。「木ノ本」の街並みを眺めながら名古屋へと向かった。小谷城と書いてある看板を通過して両側に連なる山々は紅葉には遅いが、窓から楽しむことができた。毎日の生活から離れての時間となった。「伊吹山はどれかねえ」と言いながら、関ヶ原を抜けた。養老、安八あたりからまた雨は強くなった。11時02分「一の宮」を通過した。思いがけない交通事故で高速道路から降ろされたが、やっと名古屋に着いた。

池下西交差点の角にYMCAの看板が見えた。YMCAビルの裏の駐車場に車を止めた。会の開始時間まではまだたっぷり時間がある。ここに来るとき、金沢クラブのメンバーは昼食をとるレストランが決まっているそうだ。味噌カツの美味しいレストランであった。食事をおえて、レストランをでるとき、山内メンが持って入った傘(100円均一の店で売っているような小ぶりの古いビニール傘)が替えられていることに気づいた。同じビニール傘だが、もっと大きくて新しいものに替わっていたのである。相手がだれかはわからないので、感謝してそのまま持ち帰ってきた。会合に出席した私は中部部会との繋がりを理解することができた。

以下は、山内ワイズの記録から。

13時30分、まず第3回評議会が開催された。柴田部長の挨拶に続き、議案は1件のみ。「2018-2019年度における次期中部部長およびホストクラブの選定について」であった。次とその次に当たる2クラブから、クラブ事情のため「辞退」の意向がしめされ、複数のクラブが共同でできないか、各クラブに持ち帰って考えてくることになり、結論は得られなかった。つづいて、中部EMCシンポジウムが開催され、小野勲紘西日本区EMC事業主任により「西日本区の現状・会員数の推移」について、森田恵三西日本区ワイズ将来構想特別員会委員長により「ワイズ将来構想について」講演がなされた。講演によると、中部各クラブの1997年の会員数を100とすると最も多いクラブで91%、最も減少したクラブは29%となっており、このままではワイズメンズクラブの将来は暗い。会員一人ひとりの意識の高揚と、活動内容を検討して増員計画を真剣に考えなければならないのではないかと感想を持った。

(山内ミハル 記)